

四賀むらづくり株式会社の経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものです。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和6年3月5日

作成担当部署 松本市 文化観光部 観光プロモーション課

2 第三セクター等の概要

法人名 四賀むらづくり株式会社

代表者名 代表取締役 常田 兼弘

所在地 松本市取出481番地1

設立年月日 平成7年10月16日

資本金 55,700千円

【松本市の出資額（出資割合）17,000千円（30.5%）】

従業員数 16名（常勤5名、非常勤11名）

業務内容 宿泊施設経営（松茸山荘）

公共施設等の管理運営受託業務（四賀クラインガルデン、環境学習の森等）

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

- (1) 四賀むらづくり株式会社（以下「四賀むらづくり」という。）は、公共施設等の管理運営業務を行うことを目的として、平成7年10月、旧四賀村を始めとする関係団体からの出資を受けて設立された第三セクターである。
- (2) 平成16年からは、松茸山荘（本館・別館）の経営に着手し、当初は健全運営であったものの、松茸の不作の影響等により経営が悪化した。
- (3) 平成26年に松茸山荘本館の営業を休止し、別館に経営を集約したことにより、第19期（H25-26）から第22期（H28-29）の決算額は黒字を計上した。
- (4) 令和2年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、売上は急激に減少して、第25期（R1-2）には赤字に転じ、第27期（R3-4）において、債務超過となった。
- (5) 現状、金融機関からの借入金等を運転資金として充てており、松本市は財政上の関与を行っていない。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組みに係る検討

- (1) 四賀むらづくりが経営している松茸山荘は、四賀地区における地域活性化の主要施設として存続しており、その役割は大きい。四賀むらづくりはその意義を深く理解し、地域と連携した課題解決にも真摯に取り組んでいる。
- (2) コロナ禍の影響、原材料価格の高騰、松茸生産量の減少、施設の老朽化による修繕等により、大変厳しい経営を強いられているが、経理を委託している税理士の分析によれば、財務の安全性は保持できているため、すぐさま経営の危機に陥ってしまうような財務状況ではない。
- (3) 経営健全化に向けた取組みとして、管理業務の効率化や収益構造の改善等を図ることで経営改革を実施する。
- (4) 市は、税理士等の意見を聴取しながら、引き続き四賀むらづくりの経営状況を注視し、必要に応じて助言や意見を行う。なお、四賀むらづくりの経営改善が図られず、市の財政的リスクが解消されないと判断される場合は、四賀むらづくりの清算を含む抜本的な改革を検討する。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

- (1) 四賀むらづくりは、次の取組みを行い、単年度の黒字化を継続することで、今後5年間で債務超過の解消を図る。
 - ア 令和4年から新商品の販売や入浴割引サービスなどに取り組み、売上が前年より30,000千円増加し、一定の成果が出始めている。引き続き、売上高の増加、経費削減等に取り組む。
 - イ さらに、令和6年1月から中小企業庁の経営改善計画策定支援事業を活用した「経営改善計画」を策定し、今後3年間（R6－8）は支援機関のアドバイスを受けながら、経営改善に取り組むこととしている。
 - ウ 「松茸」、「天然温泉」、「緑豊かな自然環境」を営業の柱に、更なる特色化を強めるとともに、新商品の企画販売やSNSの活用等により新たな顧客層の誘客に努め、宿泊料金等販売価格を見直すことで収益増加を図る。
- (2) 市は、経営健全化に向けた具体的な取組みの進捗管理を行うとともに、経営状況を注視し、助言や意見を行いながら、着実な取組みを促していく。

6 法人の財務状況

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

期	第 26 期 (R2-3)	第 27 期 (R3-4)	第 28 期 (R4-5)
決算期	令和 3 年 6 月 30 日	令和 4 年 6 月 30 日	令和 5 年 6 月 30 日
事業期間	12 か月	12 か月	12 か月
資産総額	45,180	45,794	36,137
（うち現預金）	21,596	21,571	14,052
（うち売上債権）	6,133	6,999	6,865
（うち棚卸資産）	4,746	5,916	3,630
負債総額	41,005	52,834	51,502
（うち借入金）	34,739	42,726	40,134
（うち市の損失補償額）	0	0	0
純資産額	4,174	△7,039	△15,364
（うち資本金）	55,700	55,700	55,700
（うち繰越利益剰余金）	△51,525	△62,739	△71,064

(2) 損益計算書

期	第 26 期 (R2-3)	第 27 期 (R3-4)	第 28 期 (R4-5)
決算期	令和 3 年 6 月 30 日	令和 4 年 6 月 30 日	令和 5 年 6 月 30 日
事業期間	12 か月	12 か月	12 か月
売上高	87,511	103,987	135,113
売上原価	24,877	32,903	47,841
売上総利益	67,380	77,000	90,902
販売費及び一般管理費	83,206	91,343	100,932
営業利益	△15,826	△14,343	△10,030
経常利益	△12,194	△11,214	△8,325
当期純利益	△12,194	△11,214	△8,325